

ハイリスク地対策事業（群馬県みどり市）

【概要】

ハイリスク地の危険箇所監視システムのAI機能付きカメラを設置し、リスクの高い時間帯である夜間の監視を行う。監視システムによって危険箇所への滞留者を検出した場合には、庁舎警備員が警察へ通報する。通報を受けた警察署員が現場へ急行し、自殺企図者の保護や状況の確認を行う。自殺を目的としてハイリスク地を訪れる人の早期発見と保護を行い、自殺を未然に防ぐとともに、自殺ハイリスク地のイメージ払拭も期待できる。

【大綱の分類】

7 社会全体の自殺リスクを低下させる

【政策パッケージ分類】

基本1 地域におけるネットワークの強化
 重点 6-1) 関係者によるパトロールや監視カメラの使用
 重点 6-4) 飛び降り・飛び込み防止等の取組
 重点 8-1) 飛び降り・飛び込み防止等の取組（再掲）

【事業実施年度】2020年度

【事業予算】1,309,000円（2020年度）

【利点】

- ▼警察と連携することにより、市職員が不在となる夜間の自殺企図者に迅速にアプローチできる。
- ▼監視カメラによって自殺リスクの高い人を検知するため、迅速な対応ができるとともに、監視カメラの存在が、自殺を思い悩んで訪れる人の抑止力の一つとなり得る。

【実施に至るまで】

背景・対策の必要性

- ①みどり市の自殺死亡率は、平成28年から減少傾向にあったが、令和元年は増加し17.72となっている。全国平均は上回るものの県平均より低い状況の中、ハイリスク地における市外からの自殺者が多く、地域自殺実態プロファイル2018：136%／+21人、2019：139%／+22人、2020：152%／+25人である。当該ハイリスク地では、自殺者のほとんどが市外居住者であり、自殺対策におけるハイリスク地としての印象がある。
- ②固定の防犯カメラの設置や欄干のかさ上げ、看板の設置など対策を講じていたが、状況の改善が見られない。
- ③警察では当該ハイリスク地のパトロール中に自殺企図者を保護した例があり、未然に発見・保護出来れば自殺を防ぐことができる。

システム導入までの経過・検討した内容

- ①警察より前述のハイリスク地での自殺実態を踏まえて、協働した対策について打診があった。
 - ②市としても従前の対策による効果が見られないため、システム導入に向けて検討。監視システムの導入により、自殺企図者の意思にかかわらず、危険箇所への滞留者を検知し警察による保護につなぐことができるため、従前の対策に比べて積極的な介入を行うことができる。
- ▼予算面：群馬県地域自殺対策強化事業費補助金（10/10）の対象

- ▼設備面：群馬県防犯設備協会からの情報提供のあったAIシステムについて、落雷等の故障に保険対応できるリースにて導入。
- ▼自殺企図者発見時の警察への通報や保護のシステムについて：当初は、警察署と市にモニターを設置し、警察に直接通報が入る計画としたが、警察署への機材設置が不可能となったため、通報業務の民間業者や消防署への委託、自動通報などを検討した。その中で委託費用や機材設置の許認可、通報基準や誤通報等の通報の精度などが課題としてあげられた。また、市の職員が現場で自殺企図者の保護を行うことは困難であるため、県の助言を受け、通報は警報作動時に警備員が行い、保護は警察へ依頼することとなった。
- ▼システムの運用にあたり、警察と協定を締結した。

現在の運用状況

▼滞留者の通報・保護

- ・市役所庁舎内警備室に監視モニター等機材を設置。
- ・危険箇所30秒以上滞留した人がいた場合、警報ランプが点灯しアラーム吹鳴。
- ・警備員が警察へ通報。
- ・通報を受けた警察官が現場へ急行し、滞留者の状況の確認、保護を行う。
- ・記録簿に記録を残す。

▼警察から映像の保存記録の提供依頼があった場合の対応

- ・個人情報保護、セキュリティの観点から保存記録の提供依頼は、担当課である健康管理課を通して受ける。
- ・警察からの依頼を受けた健康管理課長（または課長補佐）が、警備員へ、警察官がシステム操作を行うため立ち会うよう連絡。健康管理課から連絡がない場合は対応しない。
- ・警備員が連絡を受けた警察官氏名と警察手帳の氏名の一致を確認して対応する。
- ・警察官がシステムの操作を行う。作業中、警備員は退室する。
- ・記録簿に警察官氏名と作業時刻を記録する。

【成 果】

- ▼2020年6月から稼働し、2021年3月までにシステムによる感知・通報は142件。そのうち、保護件数は1件。

【補 足】

- ▼特になし

【課 題】

- ▼現状では、危険箇所への滞留者関知について、人を介して通報しているため、将来的には自動通報システムの機能を活かし、より迅速に対応できるよう体制を整えて実施することが望ましい。
- ▼当面は、警察など関係機関との連携体制を強化していくことが重要。
- ▼地域自殺実態プロファイル2020のハイリスク指標では152%／+25人となっており、今後重点的に取り組む課題である。

【事業種別】	ハイリスク地対策
【準備期間】	約720日
【人 数】	2人
【人口規模】	50,009人（2021年3月末）
【財政規模】	23,145,000,000円（2020年度当初一般会計）
【自治体負担率】	0%（群馬県地域自殺対策強化事業費補助金）
【事業対象】	自殺企図者
【支援対象】	同上
【委託の有無】	無し
【実施主体・問合せ先】	群馬県みどり市健康管理課 TEL：0277（76）2510 Mail:kenkou@city.midori.gunma.jp

【参考資料・文献】

1. 地域自殺プロフィール <http://jssc.ncnp.go.jp/chiki.php>